

がれき広域処理

多気町、断念を報告

知事「結果受け止める」

東日本大震災で発生した
がれきの広域処理で、多気
町の久保行央町長と西村茂
・同町議会議長が十六日、
県庁に鈴木英敬知事を訪問
し、受け入れを断念したと
報告した。知事は「大変残

念だが、多気町の四十九自
治会を回り、汗をかいてい
ただいた結果と受け止め
る」と応じた。

久保町長は、町議会や町
内各団体からの反対に加
え、ほかの市町で具体的

検討が進んでいないため、
受け入れない方針を固めた
と説明。「安心・安全の安
全部分は十分説明されたと
思う。ただ、安心部分で住
民に不安が残っている」と
の見解を示した。

知事は「安全性は問題な
く、広域処理の必要性も変
わりない。いろんな手段を
尽くして努力していきたく
い」と、引き続き県内処理

を旨指す姿勢を強調。ただ
「県内で起こっている議論
を、被災地の人が聞いたら
どう思うかをされるだろ
う」と、情緒的に語る一幕
もあった。

多気町の判断がほかの市
町に与える影響について、
面談後に知事は「ゼロはな
いと思うが、それぞれの地
域の事情に応じてお話しし
ていきたい」と述べた。



鈴木知事（手前右）に報告する久保町長（奥右）と西村議長＝県庁で